



2本のセイヨウイチイの樹の間から見える壮麗なシャトーの姿、マルセイユの有名な彫刻家による噴水がある庭なども一見の価値があります。



シャトー・シモーヌの地下セラーは、16世紀に宗教的な目的で掘られたのが始まりで、その後ルジエ家によって拡張されました。自然のままで温度と湿度が年間通して一定に保たれており、今では様々な大きさの樽が貯蔵されています。